



学校だより

え

ぞ

ふ

じ

令和8年9月1日(火)
喜茂別町立
喜茂別小学校
第 6 号

2026
SEPTEMBER

9

「本物がもつ力」ってすごいです

校長 古 館 昭 仁

8月19日、全員が揃って始業式を迎え、2学期がスタートしました。25日間の夏休み中、大きな事故やけが、病気をする子どもがいなかったことに、とても安心しました。2学期は12月までの長い期間です。学校教育目標である「学び続ける力」をもち、明るく思いやりのある人」の実現に向けて、全校一丸となって進んでいくことを、始業式で確認しました。



さて、8月27日には、地域おこし協力隊の庄野恒平様を講師としてお招きし、「ヒグマ対策のための特別授業」を行いました。昨年度は秋にヒグマが学校近くを徘徊し、しばらくの間、保護者の皆様に送迎をお願いすることもありました。学校の安全対策として、喜茂別町教育委員会から児童全員にヒグマ対策用の「クマ鈴」、教職員を含めた全校分の「折りたたみ式ヘルメット」を購入していただきました。また、倶知安陸上自衛隊の協力を得て一日防災訓練を行い、万が一の危険に対応する方法についても学んできました。

今回の特別授業では、ハンターでもある庄野さんから、実際にヒグマに遭遇したときの対処方法やヒグマの習性などについて、低学年と高学年に分かれてお話をいただきました。

子どもたちは真剣に、そして興味深そうに話に耳を傾け、ヒグマに遭遇した際の防御姿勢なども実際に体験しました。「ヒグマは時速50kmほどで野山を駆け回ることができる」「人間よりはるかに優れた嗅覚や聴覚をもっている」「二足で立ち、両手を挙げると2m近くになる」「普段は森の中で静かに生活している」など、庄野さんの実体験を交えたお話に、子どもたちはどんどん引き込まれていきました。そして、「最強の動物って何?」「OSOはどうして牛を襲ったの?」など、次々と質問が出てきました。話を聞くだけで終わらず、自分から疑問をもち、「もっと知りたい」と思う姿が見られたことを、うれしく感じました。

中でも、子どもたちの目の色が変わったのは、実物のヒグマの爪を見せていただいたときです。一人一人が実際に触ったり、軽くひっかいてみたり、においを嗅いだりしました。人間の爪とはまったく違い、細く鋭く、フックのように曲がっています。爪には、ヒグマのにおいもかすかに残っていました。写真や映像で見ただけでは分からないことがあります。実際に見て、触れて、においを感じることで、子どもたちはヒグマという野生動物を、より身近な存在として感じたのではないのでしょうか。

「本物がもつ力」ってすごいです。

日頃の避難訓練では、授業中であれば担任の指示を聞いて素早く避難します。一方、休み時間には、高学年が自然に低学年に声をかけるなど、その場の状況を考えて行動する姿も見られます。そして訓練後には、「どうすればもっとよい避難ができるのか」を振り返り、自分たちで考えることを大切にしています。これからの防災教育で大切なのは、知識を身に付けるだけではなく、「子どもが自ら考え、判断し、行動できる力」を育てることだと考えています。

今回、子どもたちは本物に触れ、専門家の生の声を聞くことで、教科書や映像だけでは得られない多くのことを学びました。この経験を、もしものときに自分の命を守るための「生きた学び」につなげてほしいと思います。

今後も、子どもたちが正しい知識を身に付け、自分の命を守るためにどう行動すればよいのかを自ら考えられるよう、防災教育を進めてまいります。また、ヒグマが学校周辺に出没した際には、関係機関としっかりと連携し、何よりも子どもたちの安全を第一に学校運営を進めてまいります。

本年度の重点目標

主体的に学び対話を通して思考を深める力の育成
～意欲と優しさをあわせもつ子～

大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう!



7月29日・30日の2日間、4年生以上を対象に「スマイル塾夏休み学習会」と「実験教室」が開催され、10名程度の児童が参加しました。忘れてしまったところや難しい問題などをボランティアの方や教育委員会の方々にアドバイスしてもらいながら、集中して課題に取り組むことができていました。一人だとなかなか進められない課題も、友達と一緒に頑張る力に変えられたようです。今年度新たに開催された実験教室では、6年生を中心に楽しい時間を過ごしました。科学のおもしろさに触れ、「もっと知りたい」という気持ちが膨らんだ人もいたのではないのでしょうか。

そんな夏休みを終え、子ども達が元気に学校へ戻ってきました。夏休みの作品作りは任意の取組となりましたが、自分の「やってみたい」という興味から、自由研究や作品作りに取り組んだ児童がたくさんいました。一人一人の「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちを、2学期の学びの中でも大切に育てていきたいと思います。



LIVING WITH NATURE

自然とともに暮らすには

喜茂別の自慢の一つが「豊かな自然」です。美しい自然は私たちにたくさんの恵みを与えてくれる一方、時にはその厳しさに向き合わなければならないこともあります。その一つが「クマ」との付き合い方です。

地域おこし協力隊の庄野さんをお招きして「クマ対策特別授業」を行いました。授業では、クマの性質や出会わない工夫、もし出会ってしまったときの対処などについて教えていただきました。

「森へ行くときは、クマは森の住人、人はお客様」

庄野さんから教えていただいた言葉です。クマは本来、森の中で暮らす野生動物です。音を鳴らして人がいることを知らせることや、ゴミを決められた場所に捨て、クマを人里に引き寄せるものを減らすことなど、私たちの行動によってクマとの思わぬ出会いを防げることも学びました。



豊かな自然に囲まれた喜茂別で暮らす私たちだからこそ、自然を正しく知り、お互いが安全に暮らしていくためにできることを考えていきたいと思います。

READING ALOUD

シャッフル読み聞かせ

読書推進の取組の一つとして行っている、教員をシャッフルしての子ども達への読み聞かせを行いました。毎回、どの先生が読んでくれるのか、どんな本を紹介してくれるのか子ども達も楽しみにしているようです。

子ども達の「読んでみたい」という気持ちにつながるよう、これからもさまざまな本と出会うきっかけをつくり、読書に親しめる環境を大切にしていきたいと思います。



渡邊先生が紹介した本



麻田先生が紹介した本



松本先生が紹介した本

いつでもご相談を

夏休みが明けて2週間が過ぎました。子ども達の元気な声が学校中に響いており、嬉しく思います。

2学期は最も長い学期で、学びも多く実りも多い学期です。毎日を元気に安心して過ごして欲しいと願っています。お子様の様子で心配なことや気になることがありましたら、小さなことでもかまいません。いつでもお気軽にご連絡・ご相談ください。

学校 33-2011